

解体工事 & 建設リサイクル

専門誌「イーコンテクチャー」

E-con
Ecology
Construction
Architecture
ecture

11

◆ 特集
内装からプラント解体まで
～特殊解体の技術と事例～

一歩進んだ建廃対策の実務と規制

木材リサイクルの現状とこれから

「E-con」インフォメーション
中間地産のイニシアチブで解体業、
最終処分業の技術改善促す
※ 日本工業大学ものづくり環境学科教授・小野誠氏

トップ業者が古材販売を成長させる

●古材.com 監修 藤原 隆

大層に忙し、トップ業者が古材の販売を始めた。これは古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。

古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。

空き家の古民家から回収できない場合も

- ① 古民家から回収できない場合も
- ② 古民家から回収できない場合も
- ③ 古民家から回収できない場合も



古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。

解体と古材事業はネット販売が基本

解体と古材事業はネット販売が基本。解体と古材事業はネット販売が基本。解体と古材事業はネット販売が基本。解体と古材事業はネット販売が基本。

解体と古材事業はネット販売が基本。解体と古材事業はネット販売が基本。解体と古材事業はネット販売が基本。解体と古材事業はネット販売が基本。



●古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。

古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。

古材鑑定と解体業者が一緒に現場に

古材鑑定と解体業者が一緒に現場に。古材鑑定と解体業者が一緒に現場に。古材鑑定と解体業者が一緒に現場に。古材鑑定と解体業者が一緒に現場に。

古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。

古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。

古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。古材市場の活性化は、古材市場の活性化に、重要な役割を果たしている。

そこが言いたい 第五回

専門技術が解体木の価値を高くする 古材の目利き人が立ち会い、丁寧に施工

写真: 芝光明氏

かつてチップ工場には、多数の解体事業者が毎日、解体木くずを運び込んでいた。見るからに価値の高いような古木もあった。当時、古材が流通しなかった理由は、古材の価格が不透明で、仕入れ先情報の不足があげられていた。我々は地元大阪の地で、古材が適正価格で取り引きできる環境を構築したいと考えた。

20年ほど前には大阪にも古材販売なるものがあり、柱・梁(はり)・建具・襖(ふすま)・欄間(らんかん)などが販売されていた。この前には江戸時代から存在しており、この頃から、むだを省く「もったいない」運動は行われていた。古材利用はこの流れを今に引き継いでいるものだと思う。

古材販売をやる前から、店舗・住宅・設計・施工に携わる業者から「柱・梁材を分けて下さい」と要望があったが、家屋解体されたままの状態に分けていた。「古材」としての商品化までに至っていなかった。

一般的に古材活用が一番の課題は、材とストックヤードの確保だ。古材の目利きができる人が解体に立ち合わなければならない。加えて、解体材は大量に発生する。その中で選別しなければならぬ。売れるときには日本が何十万円にもなる「古材」だが、基本的に専門の解体業者とのネットワークがなければできない。



芝光明氏

禁で、クレーンで上げてもらわなければならない。数多くの解体業者と信頼関係を築んでいることが、大きな財産になっている。こうした解体業者との信頼の深さが、価値のある古材を生み出している。

最近では、古材を求めているお客さんが、実際にヤードに来て見てもらうことが増えている。アンティークブームもあり、レストランなどおしゃれな店舗設計や施工にあって、「古材」は欠かせない部材となってきたようだ。

この事実を話し、古民家解体工事から産業廃棄物中間処理(チップ製造)・古材販売と一貫体制で吟味された「古材」を誰でも気軽に来店してもらえる古材屋を目指している。

解体業者から、まだ使える素材がたくさんあるとの話をよく聞く。現在、解体業は景気が悪くなると解体コストが圧縮され、工期をできる限り短縮し、早く済ませる解体

「アイコン・インタビュ」
中間処理の
最終処分
建廃施設は
資源循環

日本工業大学の
小野雄策

解体工事業と建設廃棄物に、新規参入を含めて競争になり、全国的に競争している。商業種とも実技術・技能による差別化主流になり、現状の経営危機にさらされ全と廃棄物対策がライアンスの問題

今後は壊す解体
従来型の業態が
業ステップへ
アップのキーワ
定費や維持管